



改元記念特集

広報誌で振り返る「平成」の幌延町

No.6

幌延町広報誌「ほろのべの窓」2013年10月号 No.588 (平成25年10月号)

[こんなことが掲載されました]

まちの話題「幌延中学校サロベツレース」

平成25年10月号の「まちの話題」に掲載された幌延中学校のマラソン行事「サロベツレース」。タオルで頭をまとめてリュックを背負い、仲間と肩を並べて歩く生徒の様子などが3枚の写真に写っています。記事を見て驚いたのは当時のレースの距離が32kmもあったこと。今年のレースは10kmと、6年の間に22kmも短くなっていました。

サロベツレースは幌延中の伝統行事として昭和58年にスタート。学校関係者によると、開催当初は3人1組で班を作り、完走時間を事前に申告して関門ごとにあるクイズに答えてゴールを目指す形でした。単純に個人のタイムを競うものではなく、仲間同士の協力が見どころの一つだったそうです。

その後、レースは町民参加型に変わり、距離とコースも年によって変動しました。フルマラソンと同じ42.195kmを3年間走ったという町出身の20代女性は「ゴール後、内出血を起こした足の爪が割れ、とても痛かった。でも友達と最後まで完走できたのは良い思い出」と笑いながら振り返ります。

距離が短くなったのは最近で、コース上でクマが目撃されたり、大雨で冠水したりすることがあり、生徒たちの安全やそれを見守る保護者の配置場所も考慮したためだそうです。

変わらないのは、ゴール後、完走者に用意されるデザート。昔はスイカ、今はフルーツポンチですが、ゴール後の甘いご褒美を美味しくようにほおぼる生徒は来年以降も見られることでしょう。



▲表紙は「おもしろ科学館2013 inほろのべ」でした。

ほろのべの裏窓

「町が伝えたいことだけを一方的に伝える広報誌になっていませんか」8月下旬、札幌市で開かれた自治体広報担当者研修で講師に投げかけられた。制作側の活発な意見交換が、住民の投稿欄が活発な交流の場になった。紙面上での住民との交流の重要性を学んだ研修になりました。

●広報へのご意見、ご要望をお寄せください●

住民生活課生活グループ 電話：5-1112 / 告知端末機：5-8812



男	1,179 (+2)
女	1,125 (+2)
計	2,304 (+4)
世帯数	1,250 (±0)

(令和元年8月末日現在) ※()内は前月比

わが家のエンジェル



早柏 弥桜ちゃん (平成31年1月8日生・間寒別) お父さん 慎太郎さん お母さん 千佳さん



山口 榮慶くん (平成31年1月16日生・間寒別) お父さん 栄彰さん お母さん 有希さん